

有明工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	人間科学 I	
科目基礎情報						
科目番号	0009		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電子情報工学科		対象学年	4		
開設期	後期		週時間数	後期:1		
教科書/教材	参考書(購入の必要はない) 針貝邦生『ヴェーダからウパニシャッドへ』Century Books 人と思想 165 /清水書院 上村勝彦『インド神話 マハーバーラタの神々』/ちくま学芸文庫 服部 正明『古代インドの神秘思想—初期ウパニシャッドの世界』/講談社 学術文庫 前田 専学『インド哲学へのいざない—ヴェーダとウパニシャッド』NHK ライブラリー 126/NHK 出版 定方晟『インド宇宙論大全』/春秋社 渡瀬信之『マヌ法典—ヒンドゥー教世界の原型』/中公新書					
担当教員	山口 英一					
到達目標						
1.バラモン教聖典における祭式と神と人間との関係の変化を説明できる。 2.南アジアにおける倫理観の根幹をなす「輪廻思想・業理論」の成立過程を説明できる。 3.日本とは異なる現代インドの文化・価値観に関して、日本との違いを説明できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安(可)		未到達レベルの目安	
評価項目1	バラモン教における祭式と神と人間との関係が時代とともに変化する状況を社会変化について、文献の時代を追って説明できる。		バラモン教聖典における祭式と神と人間との関係の変化を不十分なから説明できる。		バラモン教聖典における祭式と神と人間との関係の変化を説明できない。	
評価項目2	「輪廻思想・業理論」の成立過程を聖典文献の記述に従い説明できる。		「輪廻思想・業理論」の成立過程を不十分なから説明できる。		「輪廻思想・業理論」の成立過程を説明できない。	
評価項目3						
学科の到達目標項目との関係						
学習教育到達目標 A-2 学習教育到達目標 A-1						
教育方法等						
概要	授業は基本的に板書を中心とした講義形式で行います。バラモン教を中心とした宗教思想と現代インドの文化を紹介します。南アジアにおける倫理観の根幹をなす「輪廻思想・業理論」の登場、バラモン教における祭式と神との関係の変化などに見られる形而上学的世界の多層性を学びます。受講生諸君に一層の興味を持ってもらうために、関連する写真・録音・ビデオなどの提示資料を使っています。この授業を通じて南アジア文化全般への理解を深めてもらいたいと思います。					
授業の進め方・方法	板書を中心とする講義形式ですが、授業では学生とのやり取りをしながら説明を行いますので積極的な参加姿勢を期待します。授業内容の理解、異文化を柔軟に受け入れる視点とその変化をチェックするため、毎回の授業後にコメント・カードを書いてもらいます。					
注意点	授業中に配布する資料の全部は時間内に読めませんから、予習・復習として自分で読んでおいて下さい。その他に、参考文献やインターネット上の情報ソースなどを示します。各自の興味でそれらを参照し、より一層の理解を深めて下さい。					
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	導入=南アジア文化の理解のために1	南アジアにおける文化の多様性と言語の関わりについて理解できる		
		2週	導入=南アジア文化の理解のために2	南アジアには歴史的にどのような宗教が成立してきたのかを理解できる		
		3週	バラモン教とヴェーダ	バラモン教の成立について歴史的背景と祭式の意味を理解できる		
		4週	ヴェーダ・サンヒター1	リグヴェーダにおける人間と神々の関係について理解できる		
		5週	ヴェーダ・サンヒター2	古代インド人は「ことばの持つ力」をどう考えたのか理解できる		
		6週	ブラーフマナ文献1	ブラーフマナとはどのような文献群なのかを理解できる		
		7週	ブラーフマナ文献2	祭式万能主義とは、どのような考え方なのかを理解できる		
		8週	中間試験			
	4thQ	9週	試験返却と解説 ウパニシャッド文献1	ウパニシャッドとは、どのような文献なのかを理解できる		
		10週	ウパニシャッド文献2	輪廻思想成立当時の社会的変化について理解できる		
		11週	ウパニシャッド文献3	ブラフマンとアートマンの概念を理解できる		
		12週	ウパニシャッド文献4	輪廻思想はどのようにして成立したのかを理解できる		
		13週	バラモン教における生き方1	バラモン教における「人生の4つの目的」とは何かを説明できる		
		14週	バラモン教における生き方2	インドにおける菜食主義の持つ意味を理解できる		
		15週	期末試験			
		16週	試験返却と解説			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地歴	日本を含む世界の様々な生活文化、民族・宗教などの文化的諸事象について、歴史的または地理的観点から理解できる。	3	
				文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できる。	3	

			公民	哲学者の思想に触れ、人間とはどのような存在と考えられてきたかについて理解できる。	3	
				諸思想や諸宗教において、自分が人としていかに生きるべきと考えられてきたかについて理解できる。	3	
				諸思想や諸宗教において、好ましい社会と人間のかかわり方についてどのように考えられてきたかを理解できる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	20	10	100
基礎的能力	70	0	0	0	20	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0